



報道関係各位

GE ヘルスケア・ジャパン

より正確な診断を可能にする最新型の一般撮影装置発売

Discovery XR シリーズ に最新型「Discovery XR656 Plus」を投入

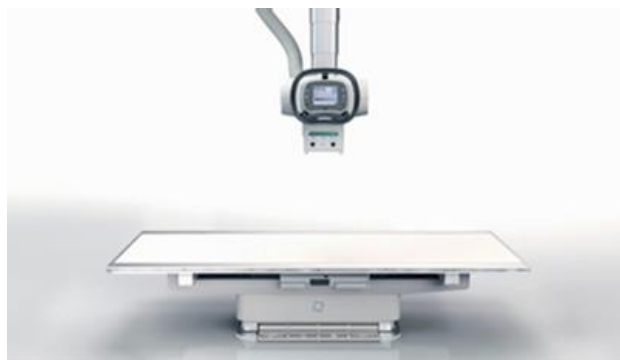
～搭載型アドバンスアプリケーションの活用で、画像診断フローの効率化・適正化にも寄与～

医療課題の解決に取り組むヘルスケアカンパニー、GE ヘルスケア・ジャパン株式会社(本社:東京都日野市、代表取締役社長兼 CEO:川上潤)は、フラットパネルディスプレイ(FPD)^{*1} 搭載一体型一般撮影装置“Discovery(ディスカバリー)”ブランドの最上位機種新モデル「Discovery XR656 Plus(ディスカバリー・エックスアール 656・プラス)」を、4月15日より発売開始します。

「Discovery XR656 Plus」は、GE ヘルスケアの既存の FPD 搭載一体型一般撮影装置の画質および機能性をさらに向上させた最上位モデルです。本機種には、DES 機能(デュアル・エナジー・サブトラクション)^{*2}、トモシンセシス、長尺撮影、線量管理ツールなどのアドバンスアプリケーションを搭載し、より正確な診断を可能としました。また、機器操作の際の放射線技師の作業効率を高めるほか、適正線量での撮影を判断する指標 DI(Deviation index)を搭載したことで、医療従事者や患者さんへの安心・安全確保に寄与します。

Discovery XR656 Plus

X線発生器側と受像器側とを別メーカーの製品で組合せて使用することが多い一般撮影装置に対し、当社では、受像器と発生器を一体型することにより、X線管の各ポジション位置をコントロールするオートポジション機能で効率的に検査が行えるなど、これまでも一般撮影機器に新たな付加価値をもたらしてきました。さらに、超高齢社会を迎えた日本で多くの症例がある変形関節症患者の膝関節・脊椎のアライメント撮影についても、より安全に効率良く撮影診断することを可能にし、高齢者向けに臥位テーブルの高さを低くした臥位撮影など、受診しやすいデザインにもこだわり、臨床的な機能向上を実現しています。



高齢患者さん向けに臥位テーブルの高さとデザインを改定

また、「Discovery XR656 Plus」では、搭載されたアドバンスアプリケーションによる詳細な画像撮影が可能となり、機器操作を行う放射線技師の作業効率を高め、診断フローの効率化・適正化に寄与します。例えば、「通常の単純胸部画像だけでは判断のつきにくい陰影も、DES を用いることで、『あるなし』の診断をとても簡単に切り分けることができ、見落としを防ぐ大変価値のある画像を得ることが可能」との評価をいただいています^{*3}。

GE ヘルスケア・ジャパンでは、一般撮影に初めてトモシンセシス機能を搭載し、10年の販売実績があります。Discovery シリーズにおいては特に臨床科の医師からアドバンスアプリケーションが評価されており、中でも胸部領域、耳鼻科領域、整形領域(椎体、関節、四肢末節など)での有用性が着目され続けています。今後も、GE ヘルスケア・ジャパンでは、機能性だけでなく、医療従事者や患者への安心・安全確保に寄与するような画像診断機器の提供を目指してまいります。

*1: フラットパネルディスプレイ(FPD): CRT(ブラウン管)に代わる、薄型で、平坦な画面の薄型映像表示装置の総称

*2: デュアル・エナジー・サブトラクション(DES): 骨と軟部組織のX線吸収差を利用し、収集画像に最適な係数を掛けて差分(サブトラクション)することで、単純X線写真に加えて軟部組織(骨除去)画像と骨組織画像を生成する手法

*3: 服部 Dr 談、TOMO User Mtg Report。こちらはお客様の使用体験であり、仕様等を GE が保証するものではありません。



当社一般 X 線撮影装置 XR656 Plus のアドバンスアプリケーションの活用(画像サンプル)

Discovery XR656 Plus の製品特長

■患者さんへの「安全」と「やさしさ」を追求

1. 被ばく管理のためのツールを搭載し、被ばく低線量化を実現しました。
2. 膝立位撮影時において、立位撮影台が低位置までをカバーすることができるため、患者さんが踏み台に上がらなくても済み、より安全に撮影ができます。
3. 高齢者の検査時における心理的・肉体的な不安から懸念される、転倒等のアクシデントについて、術者側が機器の操作においてオートポジションやオートトラッキングを使用できるため、操作への作業負担が軽減でき、その分、介助に専念できるなど患者さんへの「やさしさ」にこだわりました。

■アドバンスアプリケーションの活用

当社一般 X 線撮影装置 XR656 Plus のアドバンスアプリケーションの活用が、機器操作を行う放射線技師の作業効率を高め、診断フローの効率化・適正化に寄与して、以降の診断・検査のフローを的確に進めることができます。

■患者さんの検査負担を軽減

DES 機能はじめとする、アドバンスアプリケーションの活用により、患者さんの負担軽減(コスト削減と待ち時間などの時間の効率化)を実現できます。

■製品概要

製品名 : 据付型デジタル式汎用 X 線診断装置 Discovery

医療機器認証番号: 221ACBZX00068000 号

※Discovery XR656Plus は上記医療機器の類型 Discovery XR656 です。

GE ヘルスケア・ジャパンについて

GE ヘルスケア・ジャパン株式会社は、世界が直面する困難な課題解決に取り組む GE ヘルスケアの中核拠点の 1 つとして、1982 年に設立されました。国内に開発、製造から販売、サービス部門までを持ち、日本のお客様のニーズにお応えする、先端的な医療技術ならびに医療・研究機関向けの各種サービスをお届けしています。CT や MRI、超音波診断装置などの医療用画像診断から、体内診断薬、細胞解析装置などのライフサイエンス(生命科学)まで幅広い分野にわたる専門性を駆使しながら、GE の世界戦略「ヘルシーマジネーション」で掲げる「医療コストの削減」「医療アクセスの拡大」「医療の質の向上」の実現を目指します。2016 年 4 月 1 日現在の社員数は約 2,000 名、国内に本社および 54 カ所の事業拠点。

ホームページアドレスは www.gehealthcare.co.jp (ライフサイエンス統括本部: www.gelifesciences.co.jp)。

<お問い合わせ先>

GE ヘルスケア・ジャパン (株) コミュニケーション本部 ブランチャード/松井
Tel: 0120-202-021